

製造元

共和ハーモテック株式会社

ハイパーマツ多段積み型〈省力化かご工〉

NETIS掲載終了
CG-10022-VE

NNTD
1125

従来から使用されているふとんかごの耐久性や強度を改良した階段積のかご工法です。
ふとんかごは自立性が無いため、施工性と出来形精度が課題となっていました。
ハイパーマツを使用することでこれらの問題が解決されます。

NEXCO総研
新技術情報システム登録技術

●特長

1.施工性

金網は製造工場でU字型に加工しており、現場での組立工程を簡略化。剛性が高く、組立時の仮設補強が不要で、工程短縮と工費縮減を実現。
延長方向は連続一体構造のため石詰めが容易。

2.耐久性

金網部に「亜鉛アルミ合金先めっき溶接金網」を採用したことで、より長期耐久性を実現しました。

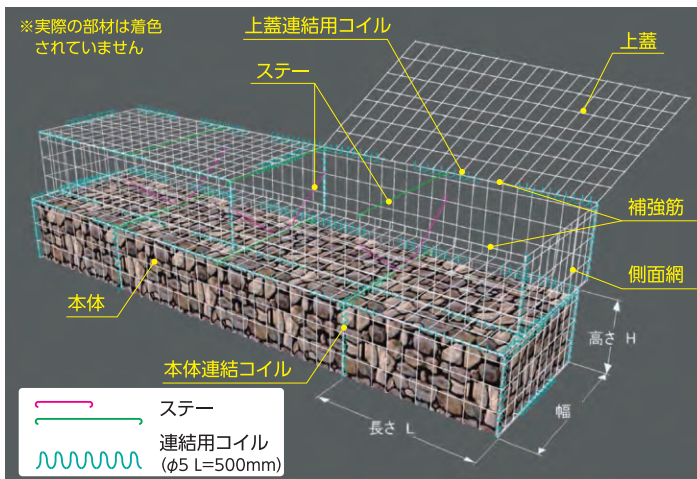
3.強度

金網に引張強さ540N/mm²※以上を有するφ6mm線
φ5mm線を使用した事により、適用範囲が拡大しました。



基本形状図

形状・寸法
重量



■寸法表

形 式	寸法(mm)		
	高さH	幅B	長さL
100型	500	1000	2000
120型	500	1200	2000

※端部用のL=1000もご用意しております。

■部材規格

呼 称	寸法(mm)	備考
本体・側面網	φ5×100×150	亜鉛アルミ合金
上蓋	φ5×100×150	先メッキ溶接金網
補強筋	φ6	
スチー	φ6	亜鉛アルミ合金
連結コイル	φ5	メッキ鉄線

※製品改良の為、製品形状及び仕様は予告なく変更する場合があります。

施工写真



IFパラペット〈プレキャストL型パラペットブロック〉

河川堤防などに用いられる特殊堤(胸壁)として設置することができます。

●特長

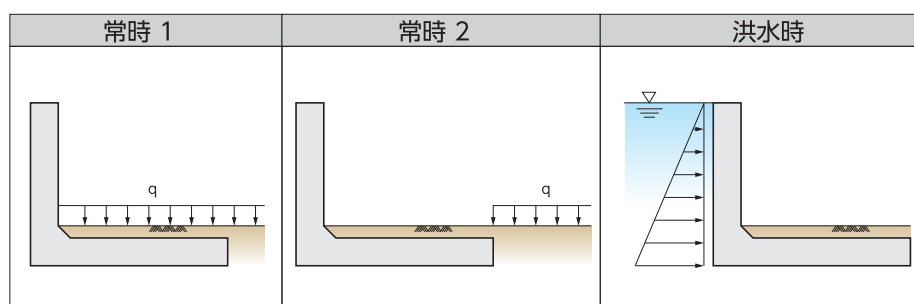
- 1.堤防の天端に設置することで洪水対策が図れます。
- 2.型枠の組立、撤去、コンクリート打設、養生作業が不要なため、大幅な工期短縮が図れます。
- 3.陸側で作業ができるため、施工の安全性が向上します。

※現場条件に合わせて設計いたします。
詳細については営業担当にお問い合わせください。

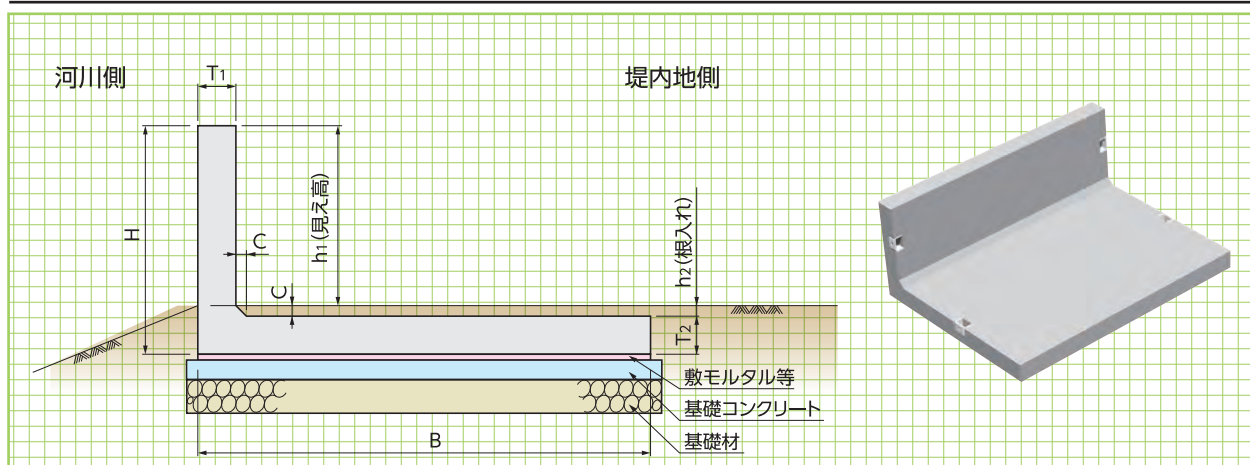


▲参考イメージ

上載荷重 : $q = 10 \text{ kN/m}^2$
 単位体積重量 : $\gamma = 19 \text{ kN/m}^3$
 内部摩擦角 : $\phi = 30^\circ$
 摩擦係数 : $\mu = 0.6$



設計条件



基本形状図

■寸法・重量表

呼 称 (H)	寸 法(mm)							参考重量 (kg)
	h1	h2	B	T1	T2	C	L	
400	200	50	400	150	150	50	2000	474
450	250	50	500	150	150	50	2000	582
500	300	50	600	150	150	50	2000	690
550	350	50	700	150	150	50	2000	798
600	400	50	850	150	150	50	2000	942
650	450	50	1000	150	150	50	2000	1086
700	500	50	1150	150	150	50	2000	1230
750	550	50	1300	150	150	50	2000	1374
800	600	50	1500	150	150	50	2000	1554
850	650	50	1700	150	150	50	2000	1734
900	700	50	1900	150	150	50	2000	1914
950	750	50	2100	150	150	50	2000	2094
1000	800	50	2350	150	150	50	2000	2310

◆ ネイレール〈河川根入れブロック〉

NETIS登録 意匠登録第1607733号
QS-190055-A 特許第6984877号



護岸の根入れ部分をプレキャスト化

平均明度
6.0

輝度の標準偏差
26

●特長

1. 施工期間の短縮

根入れ部分を代替するブロックのため、施工期間が大幅に短縮できます。したがって、仮締め切り期間が短く濁水の処理問題を回避し、河川の生態環境へのダメージが少なくなります。

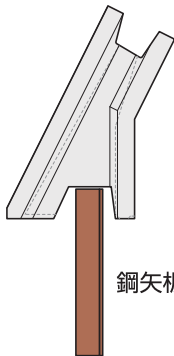
2. 表面は景観に配慮した模様となっています。

3. 鋼矢板を使用する基礎工にも対応できます。

4. 充填コンクリートにより隣接するブロックの一体化が図れます。



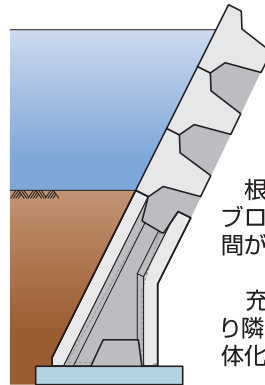
鋼矢板を使用する基礎工にも対応できます。



鋼矢板対応

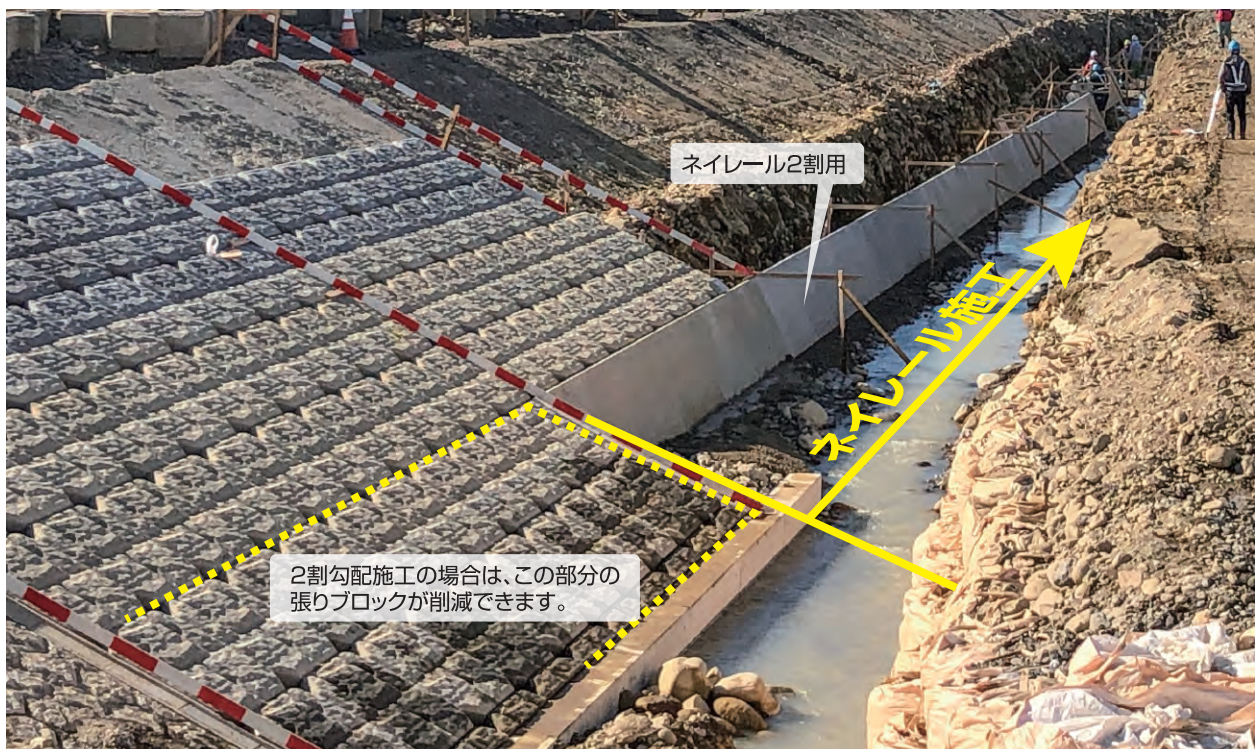


仮締め切り期間が短く濁水の処理問題を回避し、河川の生態環境へのダメージが少なくなります。



根入れ部分を代替するブロックのため、施工期間が大幅に短縮できます。

充填コンクリートにより隣接するブロックの一体化が図れます。



基本形状図

形状・寸法
重量表

擁壁類

河川関連

道路関連

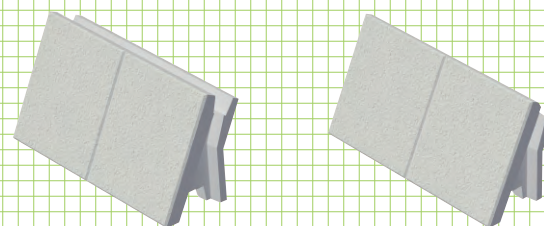
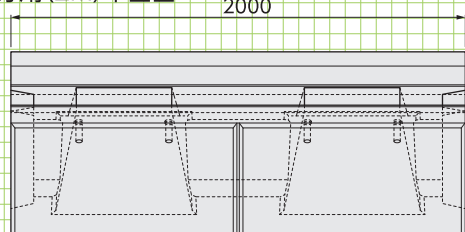
管渠類

側溝類

貯水槽関連

景観関連・その他

■5分用(2m)平面図



5分用(2m) 参考重量:1300kg

2割用(2m) 参考重量:1270kg

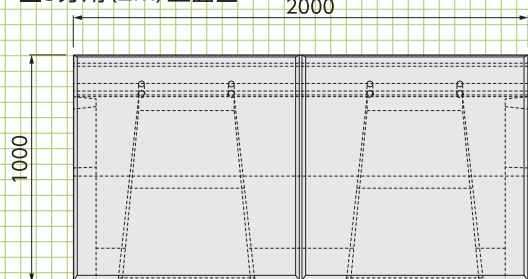
5分用(1m) 参考重量:620kg

2割用(1m) 参考重量:600kg

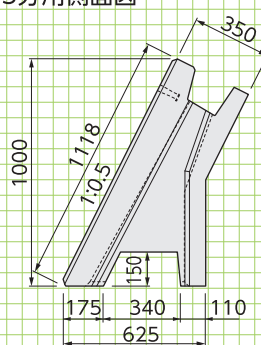
中詰めコンクリート:1.55m³(10m当り)

中詰めコンクリート:1.35m³(10m当り)

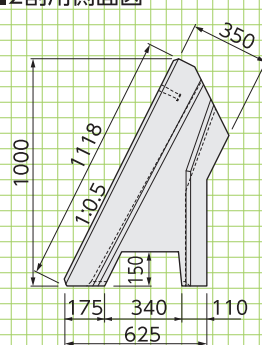
■5分用(2m)正面図



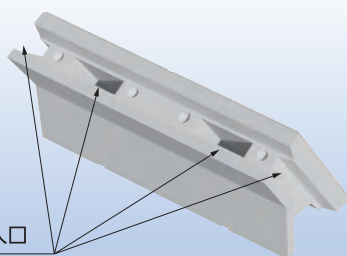
■5分用側面図



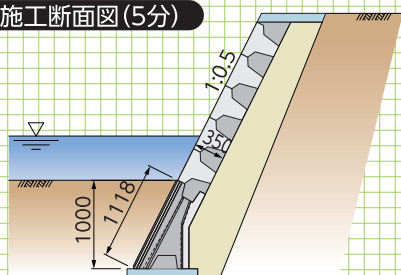
■2割用側面図



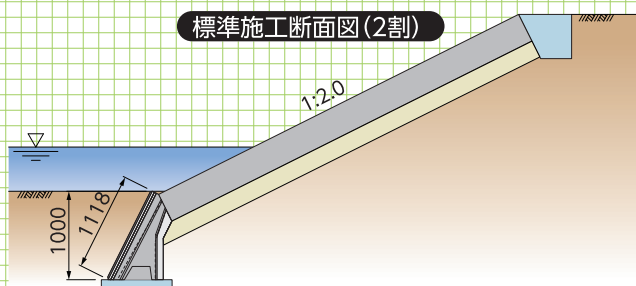
充填コンクリート投入口



標準施工断面図(5分)



標準施工断面図(2割)



施工断面図

サイドブロック 〈プレキャスト小口止ブロック〉

NETIS登録
QS-140005-VE

小口止め工をプレキャスト化
ブロック積み工と小口止め工が同時に進行可能です。

特許登録第6151929号

平均明度
※6.0

輝度の標準偏差
30

※ハツリ模様に限る。

●特長

- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。

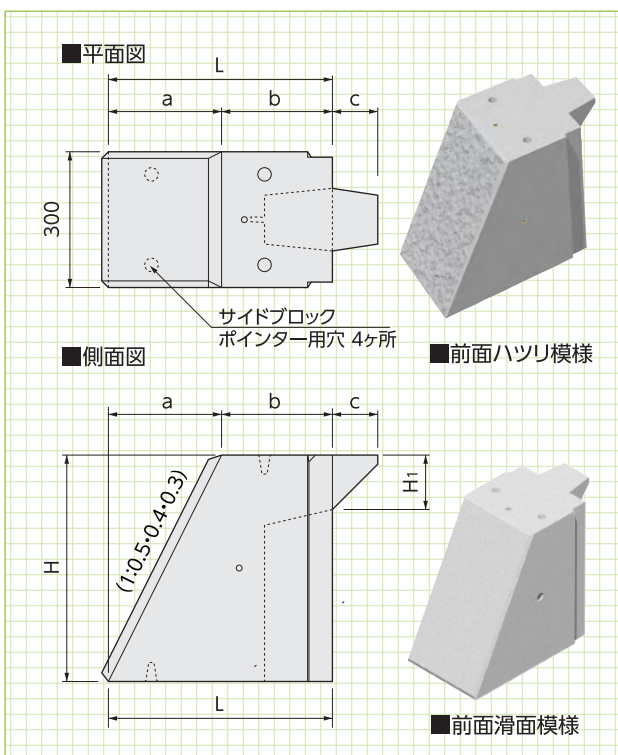
▼読谷村瀬名波



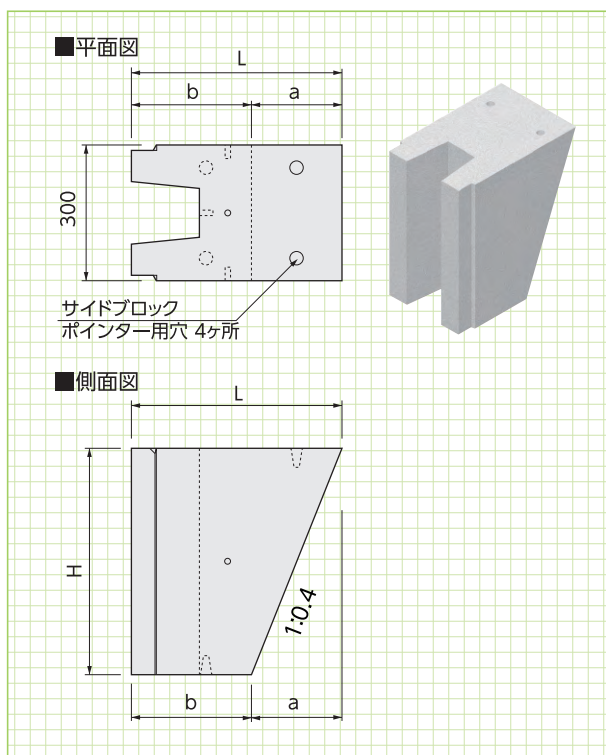
基本形状図

形状・寸法
重量

前面用ブロック、4分用ブロック、3分用ブロック



背面用ブロック



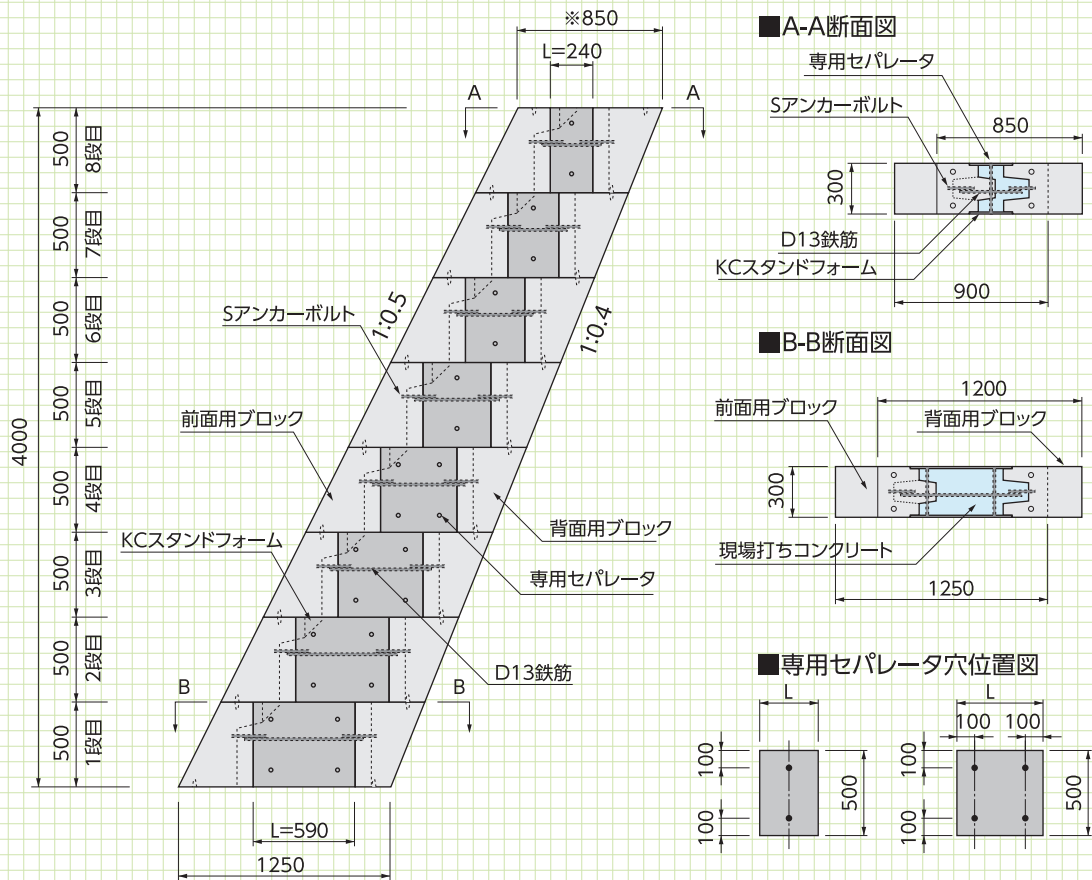
■寸法・重量表

呼 称	寸 法(mm)						参考重量 (kg)
	L	a	b	c	H	H ₁	
3分用	485	150	335	100	500	120	130
4分用	485	200	285	100	500	120	121
前面用(5分)	485	250	235	100	500	120	113
背面用(4分)	465	200	265	—	500	—	103

※3分用ブロックは反転して背面用としても使用できます。

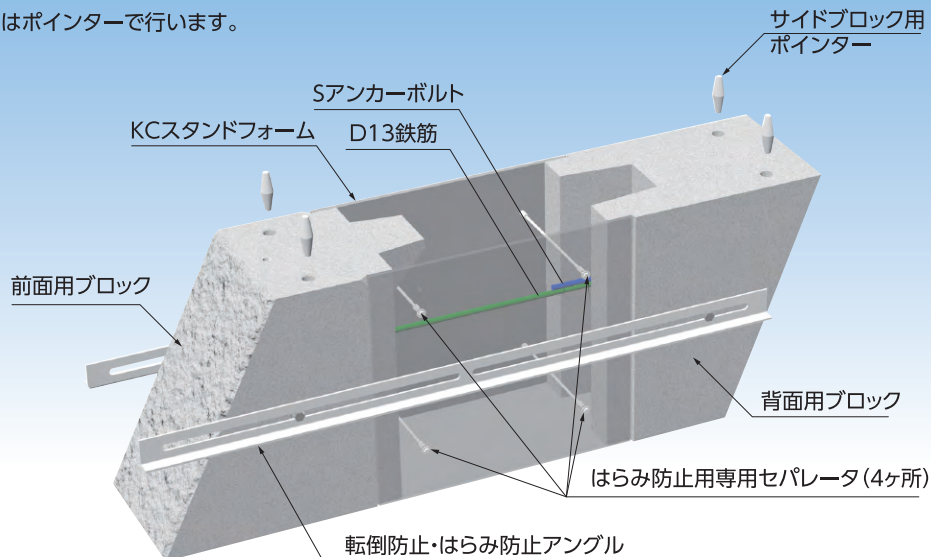
標準施工断面図

※天端奥行き850未満の場合、中詰コンクリートの打設が困難になりますのでご注意ください。



- ・専用セパ穴は、M6ボルトが通る径の穴を現場であけます。
- ・KCスタンドフォームの長さが400mm以上は専用セパを4ヶ所、650mm以上は6ヶ所取り付けます。

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面用ブロックが不慮の荷重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないようにします。
- 前面用・背面用ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



構造図

擁壁類

河川関連

道路関連

管渠類

側溝類

貯水槽関連

景観関連・その他